



## 図説情報 I 新訂版

特定非営利活動法人  
学習開発研究所 理事(代表)  
元帝塚山学院大学 教授  
高橋 参吉

令和8年度に改訂される『図説情報 I 新訂版』について、その編修方針と特徴について述べる。

### 1. 編修方針

- (1) 学習内容の把握と授業の進め方を考慮して、1項目につき、見開き2ページを基本とした。
- (2) AB判の紙面の広さを活かして、左ページに本文を置き、右ページに図表による説明をした。
- (3) 各章の内容を〔実習〕を通して深められるように、各章の後半に課題を用意した。
- (4) 各章の重要用語を確認できる〔まとめ〕や学習内容の定着を図る〔章末問題〕を置いた。
- (5) 各章で学んだことを活かせる職業や事例、話題を〔Tech Topics〕として紹介した。

### 2. 教科書の構成上の特徴

『図説情報 I 新訂版』は、難易度の高い〔Step up〕を廃止し、図やイラストで必要な内容を易しく記述し、生徒が楽しく学べるようにした教科書である。

#### (1) 章扉

学習内容に関連する偉人の業績を3コママンガで紹介し、生徒が興味を持てるようにした。

#### (2) 本文

各項目の〔導入〕では、学習内容に関連した課題をイラストや文字で示すことにより、生徒が学習に楽しく取り組めるようにした。本文左ページの説明は簡潔にし、右ページの図解で視覚的に学習内容を学べるようにした。イラストだけでは理解しにくい内容は、〔QRコード〕からのコンテンツで確認できるようにした。〔EXERCISE〕では、

生徒が、知識や思考力・判断力が身に付けられる課題を用意した。

#### (3) 実習

各章末に、短時間で行える題材での〔実習〕(15テーマ)を用意し、取捨選択して利用できるようにした。〔導入〕では、学習内容がどのように役立つのかなど親しみやすいマンガで紹介した。

#### (4) まとめ、章末問題、巻末資料

各章で学習した重要用語を〔まとめ〕として説明し、〔章末問題〕と合わせて学習内容の確認などに活用できるようにした。巻末には、学習の助けや深い学びを促す内容の資料をまとめて配置した。

### 3. 執筆や改訂にあたっての工夫点

執筆や改訂にあたって工夫した点、あるいは、苦労した点を以下に書いておく。

#### (1) やさしい教科書

本文左ページの説明では、可能な限り文字量を減らし、AB判であることを活かして右ページの図表から理解してもらえよう、いろいろと工夫(苦労)した。その結果、右ページで文字の説明が少し増えている箇所もある。

#### (2) 生徒の興味を引く教科書

章扉に偉人をマンガで紹介したが、章扉の偉人以外にも候補の方は多々おられた。情報に興味を持つ生徒を一人でも多くするためにも、先生方も、授業で偉人の業績を紹介してほしい。

#### (3) 実習も重視する教科書

各著者が実施してきた題材の中から15テーマを紹介している。座学では居眠りしても、実習では目を輝かせて学ぶ生徒もいる。いくつかのテーマは実施してほしい。

#### (4) 情報に興味を持たせる教科書

旧版の〔Step up〕の必要な基礎的な項目は、『図説情報 I 新訂版』では本文の側注などに残した。〔Tech Topics〕を導入したのは、卒業後の将来も、情報に興味を持つ生徒を増やしたいという執筆者と編修者の思いである。